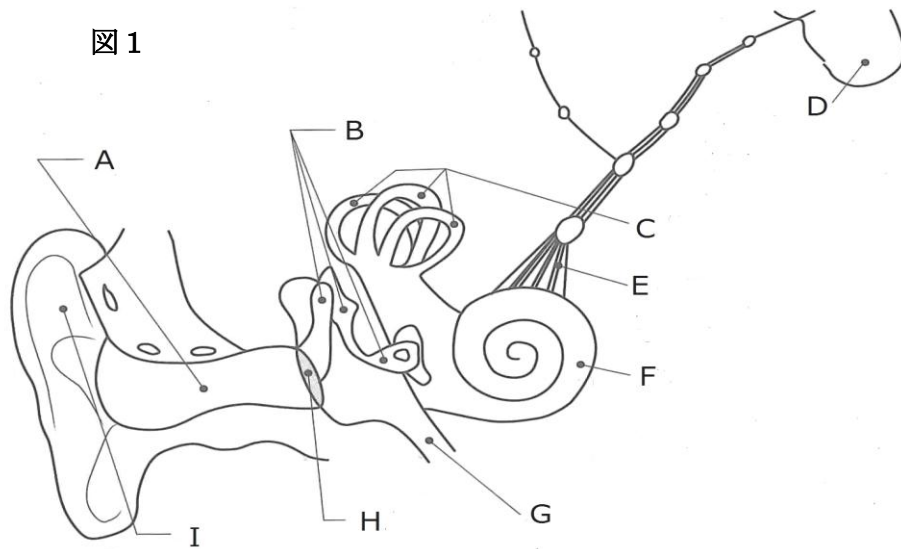


2011年度 全国統一要約筆記者認定試験 筆記試験 問題用紙

2012年3月11日(日)

- *これは問題用紙です。答えは解答用紙に記入してください。
- *用紙が配付されても合図があるまで開かないでください。
- *試験終了後、問題用紙も回収しますが、メモなどは消さなくてもかまいません。

I-1 1~10 までの文について、正しいものをア~エのなかから選びなさい。



- 図1のBの器官をまとめて何といいますか。

ア 耳小骨 イ 蝸牛 ウ 半器官 エ 聴神経
- 図1のFの器官のはたらきは何ですか。

ア 音を共鳴させ、鼓膜に送る イ 有毛細胞と脳をつなぎ電気信号を伝える
ウ 身体のバランスを感じとる エ 振動を有毛細胞で電気信号に変換する
- 伝音系と呼ばれるのは、どの部分ですか。

ア 外耳と内耳 イ 外耳と中耳 ウ 中耳と内耳 エ 内耳と聴神経
- 標準聴力検査において調べる音の高さは何 Hz~何 Hz ですか。

ア 125~4000Hz イ 250~4000Hz
ウ 125~8000Hz エ 250~8000Hz
- 障害者手帳の等級において、聴覚障害（聴力・語音明瞭度）に適用されるのはどれですか。

ア 1・2・4・5級 イ 2・3・4・6級
ウ 2・3・5・6級 エ 2・3・6級
- 聴力障害が左右ともに 85dB の場合、障害等級は何級ですか。

ア 2級 イ 3級 ウ 4級 エ 5級

I-3 次の①②について、ア～エのうちから正しいものを選びなさい。

1. 感音難聴について述べたものである。
 - ① ダイナミックレンジが広い。
 - ② 閾値が上昇する。ア ①②とも正しい イ ①だけ正しい ウ ②だけ正しい エ ①②とも違う

2. 「人工内耳」について述べたものである。
 - ① マイクや音声を処理するスピーチプロセッサは、手術で体内に埋め込まれる。
 - ② 補聴器との併用は認められていない。ア ①②とも正しい イ ①だけ正しい ウ ②だけ正しい エ ①②とも違う

3. 「磁気誘導ループ」について述べたものである。
 - ① 磁気誘導ループは、隣接した場所で使うと混線することがある。
 - ② 補聴器のスイッチを「M」に切り替えると聞くことができる。ア ①②とも正しい イ ①だけ正しい ウ ②だけ正しい エ ①②とも違う

4. 「手話」について述べたものである。
 - ① 手話は手の形と動きによるコミュニケーションで、表情は含まれない。
 - ② 手話は日本語文法にそって表現される。ア ①②とも正しい イ ①だけ正しい ウ ②だけ正しい エ ①②とも違う

5. 「難聴者に話しかけるときのポイント」について述べたものである。
 - ① ことばを一音一音区切りながら、話す方がよい。
 - ② 補聴器や人工内耳を装用している人には耳の近くで話さなければならない。ア ①②とも正しい イ ①だけ正しい ウ ②だけ正しい エ ①②とも違う

II-1 次の（ ）のなかに当てはまることばを入れなさい。

1. 社会福祉援助は、「(①) 事業」、「(①) を目的とする事業」、「(①) に関する活動」の3類型に大別することができる。(①) 事業は社会福祉法によって第1種と第2種に分類される。

2. 国連での「障害者の権利宣言」の採択(1975年)を契機に、1981(昭和56)年には(②)が開かれ、続いて、「国連障害者の10年」の取り組みが展開された。(②)のテーマとして掲げられた「完全参加と平等」は、日本にも大きな影響をもたらした。

3. 人権は次のような分類が一般的である。近代立憲主義において、人権体系の中心をなしていたのが (③) 権である。「国家からの自由」とも言われ、国家権力の介入を排除して、国民各人の私的領域の意思決定や活動の自由を確保する人権である。(④) 権は「国家への自由」ともいわれ、上に述べた (③) に仕える。国民が自由であるためには、国や地方の政治に参加するのが望ましいからである。(⑤) 権は「国家による自由」ともいわれる。資本主義の高度な発達、貧富の差の拡大、失業、労働条件の劣悪化をもたらした。(⑤) はこのような弊害から経済的・社会的な弱者を救済するために認められた現代的な人権である。
4. 身体障害者福祉法は1949(昭和24)年の制定当初は (⑥) (リハビリテーション) がキーワードとされ、身体機能を回復するための訓練や就労のための職業訓練という狭い意味にとらえられていた。しかし1990(平成2)年の改正後は、「身体障害者の自立と社会経済活動への (⑦) を促進する」(第1条)、「すべての身体障害者は社会、経済、文化その他のあらゆる分野の活動に (⑦) する機会を与えられる」という考え方に変わった。
5. 社会福祉基礎構造改革の検討は、2000(平成12)年に「社会福祉の増進のための社会福祉事業法」等の一部を改正する等の法律」として具体化された。1950年代からの (⑧) 制度を、(⑨) による利用制度へと転換することが盛り込まれ、利用者(選択権の主体)、行政、指定事業者の三者によって構成される (⑩) 制度へと移行することになった。

II-2 次の各テーマの内容として間違っているものを選びなさい。

1. ノーマライゼーション思想
 - ア デンマークで提唱され、ヨーロッパやアメリカ、日本にも導入された。
 - イ この考えのもとになっているのは精神障害者の施設入所批判である。
 - ウ この思想は生活条件や社会環境のあり方から問題点を探ろうとする点に特徴がある。
2. 国際生活機能分類
 - ア 1980(昭和55)年にWHOから発表されたものでICIDHという。
 - イ 「心身機能・身体構造」「活動」「参加」の3つの次元でとらえている。
 - ウ 環境因子と個人因子が作用するとしている。
3. 第二次大戦後の日本の社会福祉
 - ア 敗戦後の日本政府に対し、GHQは無差別平等・国家責任・救済の非制限・公私分離を4原則として提示した。
 - イ 福祉三法とは「身体障害者福祉法」「生活保護法」「社会福祉法」である。
 - ウ 「生活保護法」は憲法25条の生存権保障・保護請求権を明確化したものである。

4. 2000（平成 12）年の社会福祉法改正のポイント

- ア 利用者本位の福祉サービスがあげられ、「質の高いサービス」の提供が求められる。
- イ 「福祉援助利用事業」など新しい 13 事業が位置づけられ、サービスの充実がはかられた。
- ウ 「地域福祉の推進」が強調され、地域住民はサービスの受け手と同時に「サービスの担い手」とされた。

5. 障害者自立支援法のサービス体系

- ア 大きく分けて、自立支援給付と地域生活支援事業、自立支援医療になる。
- イ コミュニケーション支援事業は市町村の必須事業となった。
- ウ 地域生活支援事業は、市町村事業と都道府県事業がある。

II-3 次の文章が正しければ○、間違っていたら×をつけなさい。

1. 21 世紀に入った日本では、「大きな政府」が強調され、格差が広がった。
2. 障害者自立支援法は支援費制度の継続が困難になったために提案された。
3. 新しい福祉理念は、障害者についてだけを考えた社会づくりではない。
4. 「障がい者制度改革推進本部」では、障害を持つ当事者や支援者が議論してきた。
5. 2011（平成 23）年 8 月には障害者自立支援法の骨格提言が示された。
6. ソーシャルワークは社会福祉援助技術といわれる。
7. ソーシャルワークは人の尊厳を保持するもので、利用者の特定情報をもとに行う。
8. 援助者は、問題を抱えた人に当人だけでなく家族も含めて対等な関係で援助する。
9. 社会福祉従事者は、社会福祉を必要とする人々を社会資源に結びつける役割がある。
10. 社会福祉従事者は、困難を抱える人を抱きかかえてすべての援助にあたる。

Ⅲ－1 次の内容について、ア～エのうちから正しいものを選びなさい。

- 1973（昭和48）年に開催された第1回難聴者組織推進単位地区研究協議会についての記述である。
 - ① 東京で開催された
 - ② OHP 要約筆記が全国的に知られるきっかけになったア ①②とも正しい イ ①だけ正しい ウ ②だけ正しい エ ①②とも違う
- 1999（平成11）年に通知された要約筆記奉仕員養成カリキュラムについて述べたものである。
 - ① 基礎課程 20 時間と応用課程 32 時間、計 52 時間で構成されている
 - ② 都道府県だけでなく、市町村でもこのカリキュラムでの講座を開催することができるア ①②とも正しい イ ①だけ正しい ウ ②だけ正しい エ ①②とも違う
- 障害者自立支援法において、都道府県と市町村の役割について述べたものである。
 - ① 福祉サービスの提供は、都道府県が主として担う
 - ② 福祉サービスの従事者や指導者の養成は、市町村が主として担うア ①②とも正しい イ ①だけ正しい ウ ②だけ正しい エ ①②とも違う
- 次の A～C の出来事を、古い順に並べたのはどれか。
 - A 全国標準略号・略語が決定される
 - B 全難聴・全要研から要約筆記の基本方針が示される
 - C 要約筆記のシンボルマークが制定されるア A→B→C イ C→A→B ウ C→B→A エ B→A→C
- 2009（平成21）年度、全国の市町村の中で要約筆記者派遣事業の実施率に最も近い数値はどれか。
ア 38% イ 48% ウ 58% エ 68%

Ⅲ－2 次の文章を、下の語句を用いて、完成させなさい。

- 要約筆記で「表記」に気をつける理由のひとつは、日常で目にする表記と違和感のないことである。表記のめやすとして内閣告示されている基準で、漢字では「(①)」、かなは「(②)」や「(③)」の付け方「外来語の (④)」がある。また、漢字と仮名の使いわけでは「(⑤)」における漢字使用等について」も示されている。
- 話しことばの特徴を活用して要約筆記をする技術として、話を聞き分けるための (①) 省略、短く書き表すための (②) ・ (③) ・文末処理がある。また、場を共有していることから、(④) の活用ができ、なかでも (⑤) による情報の活用は重要なテクニックといえる。

3. コミュニケーションとは、意思疎通や精神的交流という意味に使われたり、通信と訳されており、(①) の communis からきている。コミュニケーションの場面で、(②) が送り手から受け手に伝わる回路をコミュニケーション (③) といい、この流れを解き明かすためにいろいろなコミュニケーション (④) が示されてきた。アメリカの工学者である (⑤) とウィーバーによるものが有名である。
4. 文章要約のタイプとして挙げられるのは、(①) と (②) です。前者は大意をまとめる方法、後者は (③) を抜き出す方法といえる。また、情報伝達における要約には、(④) の明確化、(⑤) の効率化、情報の共有化などの効果がある。

III-3 以下の指示に従って記述しなさい。

1. 要約筆記の全体投影では、一緒に組む要約筆記者同士の連携はもちろんですが、もっと広い意味でのチームワークを考える必要があります。広い意味でのチームワークとして見たとき、そこにはどんな人たちがいますか。5つ書きなさい。
2. 次の状況であなたはどう判断、行動しますか。50字以内で要点を書きなさい。
全体投影での要約筆記中、この講演会の主催者がやってきて、携帯電話を落とした人がいるので、会場にそれを文字で映して知らせてほしいと言ってきた。

IV-1 次の文章の () に適切なことばを入れなさい。

1. 世界の言語を典型的に分類すると、孤立語、屈折語、膠着語、抱合語の4つに大別できるが、日本語はこのうち (①) に属する。
2. 文はその構造として、「何が」を示す部分と、「どうする・どんなだ・なんだ」を示す部分とを軸にして作られているが、前者を主語、後者を (②) という。
3. 父親のことを「おとうさん」「おやじ」「パパ」「とうちゃん」などと使い分けて、そこに独特の語感・ニュアンスが生まれる現象を「単語の (③) 」といい、「『おやじ』と『パパ』とでは (③) が違う」という。
4. 個人が日常の言語表現で使用する語彙を (④) 語彙といい、ふだん使わないが読んだり聞いたりしたときにはわかる語彙を (⑤) 語彙という。通常、(④) 語彙よりも (⑤) 語彙の方が豊富である。

IV-2 次の文章の（ ）に当てはまるものを①～④のうちから選びなさい。

1. 標準的な日本語の母音をかなであらわすと「ア イ ウ エ オ」の五つであり、それらは（①有声音 ②無声音 ③歯茎音 ④弾音）である。
2. 日本語のアクセントは（①高低 ②強弱 ③上下 ④左右）アクセントであるが、意味の区別の上で絶対的なものではない。
3. 「橋（はし）」という単語と「端（はし）」という単語の関係は、（①多義語 ②同音異義語 ③反義語 ④類義語）である。
4. 正しい送りがなの表記は、「私は、若い頃軍隊でとても苦い体験を（①味あわされた ②味わされた ③味わわされた ④味じわされた）」である
5. 現代日本語において、社会一般的な文章の漢字とかなの使い分けに従えば、（① 彼からは、今のところ何の連絡もない。 ② 彼からは、今の所何の連絡もない。 ③ 彼からは、今の所何の連絡も無い。 ④ かれからは、今の所何の連絡もない。 ）の表記が望ましい。

IV-3 次の記述のうち、正しいものに○、間違っているものに×をつけなさい。

1. 「犬（①いぬ）」と「先生（せんせい②い）」において、「①い」と「②い」の発音は同じである。
2. 現在の日本語表記において、その漢字使用は文部科学省が定めた「常用漢字表」（平成22年内閣告示）によるが、それは法的拘束力を持つものである。
3. 現在の日本語表記において、通常、「中心」は「ちゅうしん」と表記するが、「世界中」は「せかいじゅう」と表記する。
4. 現在の日本語表記において、「もうしこみ」は、「申し込み」「申込み」「申込」のどの表記でも許容されている。
5. 「庭に①赤い花が咲いている」と「庭に②かわいい花が咲いている」の「①赤い」と「②かわいい」では品詞が異なる。